

## 2021年度 第4回 理事懇談会 抄録

日 時：2021年12月4日（土） 11：05～12：30

場 所：WEB会議

出席者： 理 事：齊藤、内山、大工谷、湯元、清宮、佐々木、白石、森本、網本、

板倉、大淵、小川、梶村、黒澤、高橋（哲）、田中、谷口、  
西山、友清、藤澤、松井

監 事：太田、櫻田、辺土名

欠席者： 理 事：吉井、高橋（仁）

監 事：なし

### I. 協議事項

（全2題）

1. 医師のタスクシフティングの結果についての総括 （大淵理事）

2021年9月30日に厚生労働省から発出された「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」において、理学療法士の業務の具体例として示された内容への評価と要因、ならびに今後のタスク・シフト/シェアに対する本会の戦略等について協議がなされた。

#### 【主な意見】

・書面では「リハビリテーションに関する各種書類の記載、説明、書類交付」が示されたに留まったが、リハビリテーション実施計画書の説明・交付等を通して、リハビリテーションのマネジメントについてのタスク・シフトが推進されることにもつながるチャンスであると認識している。本通知を受けて、どのようにタスク・シフト/シェアの実践を浸透させていくかが重要。まずは、実装が大事だと思う。一方で、本通知により解釈が示されたものの、通則等においては「医師の指示」が明記されており、その解釈の複雑さが推進の疎外になっているようにも思う。会員への周知についても検討すべきではないか。

・今回のタスク・シフトは、診療補助行為に含まれるものを中心に議論されたと理解している。元々理学療法については、言語聴覚士や作業療法士と比較して診療補助行為とされるものが少ない点も、明示されている項目が少ない要因となっているのではないかと。法改正が必要なものなのか、今回のように解釈が示されて運用面で変えることができるものなのかによって、アプローチは異なる。運用面で変えられるものについては、議論が必要。タスク・シフトを推進するためにどの部分が非効率なのか。医師とのタスク・シフトが必要な部分がどこなのかを、本会として検討していくべき。議論をする際には、病院だけではなく地域や在宅の部分を含めていただきたい。

・継続的な議論をするためには主張が必要。本会としての意見をまとめてこれからも前に進めていければいいと思う。

・他職種の部分に明記された中に、従来PTが行っていたものも含まれていることが気になった。医師だけでなく他職種とのタスクシェアについても整理する必要がある。

・実際の現場では、タスク・シフトを業務が増えるのとらえ、前向きにとらえていない会員もいる。業務量に応じた評価も必要。この流れを業務に落とし込む作業やアプローチも必要。

2. 日本理学療法学会研修大会における今後の開催方式のあり方について

(白石常務理事)

理学療法士の臨床技能を高めることを目的として、実技やグループワーク等を主体とした対面方式で開催されてきた日本理学療法学会研修大会について、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた今後の開催方式のあり方への議論がなされた。

【主な意見】

- ・臨床技能を高めるうえで大切なのは臨床現場の OJT。オンラインでの開催方式を検討するにあたり、臨床技能を高める目的についても再考すべきではないか。
- ・全国から会員を1箇所に集めて技術研修をすることの是非について検討が必要。臨床技能を高めるためには、臨床現場での OJT や対面での研修は外せない。一方、昨今のオンライン開催の広がりによって地域性がなくなったのも事実。オンラインで会員の知りたい情報を選択しながら、幅広く研修会を受けられること自体にはニーズがあると推測する。コロナ対応により開催方式の変更を余儀なくされ、整備されないまま研修会があふれている。都道府県・ブロック・全国の規模別の区分けが今後にも必要かについても検討していただきたい。
- ・新生涯学習制度との連携を考えると、違う切り口での相乗効果が出てくると思う。その視点からの検討も進めていただきたい。
- ・開催方式に絞って考えると、IT化により会員にとって参加しやすい環境になったことはいいことだと思う。全国的に有名な先生方の講義に触れやすくなったことは、貴重な機会だと思うので、今後も存続していただきたい。
- ・運営する士会の立場としては、開催方式が示されないと企画検討に支障が出る部分もあると思うので、早めに方針を示していただくとよい。
- ・IT化が進むと、協会の支援（技術面・コスト面）も必要になってくるのではないか。

3. 懲戒規程改定の方向性について

(湯元専務理事)

懲戒規程における草案の方向性について案が示され、議論がなされた。

4. 理学療法士作業療法士国家試験出題基準改定案について

(白石常務理事)

医道審議会理学療法士作業療法士分科会理学療法士作業療法士国家試験出題基準作成部会にて取りまとめた、理学療法士作業療法士国家試験出題基準改定案に対して、厚生労働省医政局医事課試験免許室より、本会に意見が求められている。本件について、様々な意見が出された。今後理事の意見を集約し調整の上回答を行う予定。

以上